HAKUOH JHS NEWS

白鷗大学足利中学校新聞　－vol.91－

■発行所／白鷗大学足利中学校新聞委員会　足利市伊勢南町4-3　TEL.0284-42-1131

卒業おめでとう

巣立つ53名の未来に輝かしい光あれ!!

感謝

猪野　竜平

僕は、中学校3年間陸上に励んで来ました。小学校の時からクラブチームに所属していたので、中学でも継続し放課後は、競技場で練習をし、中学2年生からは、白鷗高校陸上部の先輩達と朝練習が出来る環境を頂き、河川敷での朝練習にも参加しました。

僕が、陸上を継続できたのは多くの方に支えてもらったからです。大会前に激励してくださった校長先生。結果が出なくて落ち込んでいる時に励ましてくださった先生方。朝練習でペースに付いていけない時にアドバイスをしてくださった先輩達。早朝からお弁当を作ってくれた母、大会の時に送迎してくれた父。感謝の気持ちでいっぱいです。本当にありがとうございました。高校でも陸上部に所属します。更に練習に励み結果に繋がる走りが出来るよう頑張ります。これからも応援宜しくお願いします。

一生の宝物

伊藤　愛華

白鷗中での3年間を振り返ると様々な思い出が蘇ります。

緊張した入学式。先輩や後輩と仲良くなれた林間学校や体育祭。合唱祭でのピアノ伴奏。色々な所に連れて行ってもらい、ホストファミリーと楽しく過ごせたホームステイ。他中では経験できないことをたくさん経験できたと思います。

また、熱心にそして興味深い授業をして下さる先生方。そのおかげで、授業を真剣に受けることができ、希望通り富キャンに合格することができました。

そして、一番の思い出は休み時間やお弁当の時に他愛のない話をしたり、長期休みの時に色々な所に行ったり、悩み事を相談したりすることができる友達ができたことです。

白鷗中で過ごした3年間はとても貴重で私にとって一生の宝物です。

海外研修の思い出

齋藤　桜

この3年間を振り返って、一番印象に残っていることは、オーストラリアの海外研修です。初めての海外だったので少し不安はありましたが、そんなことも忘れてしまうほど、オーストラリアでの滞在はとても楽しく、有意義なものでした。

私はホームステイの際、ホストファミリーに積極的に話しかけることができず、もっと英語を勉強しておけば良かったと何度も思いました。ホストファミリーが私のたどたどしい英語にも丁寧に耳を傾けてくれたおかげで、日本の文化や習慣についてたくさん話をすることができました。オーストラリアで過ごした3日間は、私にとって思い出深い貴重な体験となりました。

最後に、白鷗中で、大切な友人達と充実した3年間を送ることができて本当に良かったです。

予餞会最高!!

蜂須　優真

僕の中学校生活での一番の思い出は、やっぱり予餞会です。2年の時には全演目の内半分に関わっていたので、毎日のように3年生に楽しんで貰うために準備を重ねていました。

クラスの出し物ではみんなで協力して劇で使う物を制作したり、友達と2人でやった有志の「オドルンジャー」では、一緒にストーリーを考えたり、ダンスの振付の分からない所を教え合ったりもしました。

そして当日、演目の最中に見えた客席の3年生の笑顔や、終わった後の満足そうな表情を見て僕はとても嬉しく思いました。

6時間以上もかけて編集した動画データを誤って削除してしまったりもしましたが、予餞会は僕の中で中学校生活最高の思い出です。

白鷗中 川柳

体育館　時々鳩がご登場　**金子　承**

日曜日　下野模試で休みなし　**清水　陸**

美しい　J子で埋まった我がノート　**鈴木　大陸**

静寂な　廊下に響くプルルル　**横山　伶旺**

イチゴ・オレ　1日2日で　売り切れる　**吉澤　夏輝**

あと10分　駅を目がけて橋ダッシュ　**青木　千明**

呼び出しと　階段の数　反比例　**遠藤　心美**

久々に　「代打の代打」聞きたいな　**齋藤　桜**

白鷗中　優しい人が多い場所　**横山　花**

作品の　終わりは俺に決めさせて　**阿部　貴世良**

最近は　大喜利重視　白鷗の木　**奥抜　空翔**

ウソつくな　「勉強してない」してるだろ　**小野田　大悟**

窓際に　凍え集まり笑い声　**長島　匠海**

T先生　電話や放送　誰呼んだ？　**石関　佑実子**

じゃんけんは　さいとうあすかで　必勝だ　**影山　萌夏**

ゴミ捨ての　じゃんけんみんな　必死すぎ　**藤倉　心結**

席替えで　PLUS ULTRA　さらに後ろへ　**別府　莉緒**

掲げよ！未来を照らす かがり火を
～卒業生の皆さんへ贈る言葉～

夢中になる

校長　中戸 康平

私が皆さんと共に過ごした時間は1年間だけでしたが、色々な行事を通して、行事にいつも真剣な顔で臨み、結果に素直な表情で一喜一憂する皆さんの姿をたくさん見てきたせいか、今、皆さんの一人ひとりの顔を頭に浮かべることが出来ます。

今年の3年生は、行事に熱く燃える生徒が多いとは聞いていましたが、なるほどその通り。卓越したリーダーシップを発揮した生徒、びっくりするような才能を披露した生徒、チームの一員に徹してどこにも負けない盤石なチームワーク作りに貢献した生徒等々、皆さんは様々な形で夢中になって行事に臨んでいました。私は、どんな行事にも夢中になれる、こんな皆さんがとても素晴らしいと思いました。

是非、高校でも何かに夢中になって、そこから何かを掴み取り、さらなる人間的成長を図って下さい。健闘を祈っています。

輝く君になろう

学事顧問　前川 晋

ご卒業おめでとうございます。皆さんが健やかに成長する3年間を、ここ白鷗大学足利中学校で見てきました。学校の内外で、運動面や文化面、その他、さまざまな特技を生かした活動など、皆さんがいきいきと輝く姿を見せてくれました。

学習面で良い成績を取ること、それはもちろん大切なことです。しかし、高校、大学を終え船出していく社会は、広くさまざまな人材を求めています。人の力を計るのは学力だけではありません。趣味や特技、個性など、学校の勉強で培われたものだけではない力が生かされる場面が数多くあります。

これから高校、大学へと進まれる皆さんには、今までと同じような学校の学習を中心とした忙しい毎日が待っていると思いますが、そんな中でも自分の趣味や特技を伸ばすとともに、新しいことに挑戦して輝く君になってください。

心の余裕

教頭　新井 重利

ご卒業おめでとうございます。皆さんはこれから高校へ進み、その後多くの人は大学受験を目指すことになると思います。高校では今まで以上に勉強が大変になり、予習や復習、宿題や課題等、勉強に充てなければならない時間がますます増えていきます。また、生徒数が多くなり、白鷗中では順調に学校生活を送っていた人でも、勉強面や人間関係に悩むこともあるかもしれません。大変なことだけに時間を取られてしまうと、息が詰まり、どうしていいかわからなくなってしまいます。そんな時には「自分の時間」が必要です。音楽を聴く、ゲームをする、ボーっとしている等、他人からは無駄な時間に見えても、リフレッシュするためのとても貴重な時間になります。やるべきことに忙しい時ほど「無駄」な時間を作り、「心の余裕」を取り戻して、前に進んでいきましょう。

贈る言葉

教務主任　増山 幸央

ご卒業おめでとうございます。皆さんとは1年生の時に社会の授業を担当しました。皆さんは廊下などで見かけるといつも元気よく挨拶してくれました。覚えていてくれているかわかりませんが、私は中学入学後の最初の授業の時にいつも挨拶の大切さを話しています。別にそのためではないと思いますが、私は挨拶がしっかりできる人が大好きなのです。

個人的には、自分の子供が皆さんと同じ年齢で、自然に比べてみていました。皆さんはとにかく勉強に部活動に、あるいは学校行事にとても熱心に取り組んでいたという印象です。高校入学後も、白鷗中学校で学んだことを生かして、ぜひそれぞれの自分の夢の実現に向けて頑張っていってください。そしていつの日か成長した姿でお会いできることを楽しみにしています。

行動力に自信を

学年主任
1組担任　田中 淳史

卒業おめでとう。早いもので白鷗中へ入学してから3年が過ぎようとしています。義務教育も終わりとなり、4月からは高校へ進学することになりますが、期待と不安でいっぱいの人もいることでしょう。しかし、高校では自信を持って取り組んで欲しいと思います。みんなには『行動力』があります。その行動力を高校でも発揮してください。そして、是非、自分の将来の夢を叶えてください。みんなのこれからの活躍を期待しています。

何事にも意味がある

2組担任　高井 俊幸

「人生に無駄なことなんて何一つない」これから先、良いことも、悪いことも、多くの事を経験していくと思います。自分の思い通りにならないこともたくさんあると思います。しかし、その時には分からなくても「あの時」の経験が活きる時が必ず訪れます。しんどい時こそ前や上を見て、気分が浮かれている時こそ足もとや周りをよく見ましょう。起こりうる一つ一つの出来事にきっと意味があるのです。

これからの皆さんの活躍を大変楽しみにしています。ご卒業おめでとうございます。

美しい成長。

副担任　大平 洋一

皆さんは「植物が育つには何が必要か」という質問に答えることができますか。「光、水、土、気体、あとは…適切な温度。」などと答えてくれるでしょう。でも後一つ大切な何かが抜けているとしたら…。実は「夜の暗闇」が植物が美しく育つのに欠かせないのです。人も植物と同様、元気に美しく成長するには、夜の闇が欠かせないのです。つまり、皆さんも今は辛かったり、苦しかったり、悲しかったり、もしくはこれからそういう時期に直面することもあるだろうけど、それは今後美しく成長するために必要なことであることを決して忘れないでください。

今、この瞬間

副担任　上野 明莉

ご卒業おめでとうございます。

みなさんは白鷗中を卒業し、義務教育を終了します。大きな節目を前に、どのような思いでいるでしょうか。

節目は、今の自分よりも更に良い自分になるためのチャンスです。この1年、みなさんの行動力には何度も驚かされました。高校進学後も自分らしさを忘れずに、大きい人間になってください。

「Here and Now」私が大切にしている言葉です。「今」「この瞬間」を思う存分楽しみましょう。応援しています。

はなむけの言葉

かつて日本はバブルという未曾有の好景気に浮かれていました。バブルは崩壊して初めてバブルだったと分かるといいます。白鷗中のよさも卒業して初めて分かるのかもしれませんね。白鷗中で学んだことを、今後の人生に役立ててこれからも輝き続けてください。

星野 進

はなむけとして、マザー・テレサの言葉を送ります。「もし、あなたが謙虚ならば、ほめ言葉も不評も、あなたを害するものはありません。あなたは自分が何者なのかを知っているからです。」ゆっくりじっくり歩んでいってください。ご卒業おめでとうございます。

宮谷 晴子

卒業おめでとう。人工流れ星を作ることができる時代になりました。夢があるだけではなく、地球大気の研究にも役立つようです。十年後はどんな世界になっているのでしょうか。卒業生の皆さん、どんどん勉強してもっと便利な日本にして下さい。

滝沢 悟

「辛」という字に一を加えると「幸」になります、少々、不恰好ですが。人生で辛い経験も、あと一歩、ふんばってみよう。その一歩を越えれば、幸せだと思える時が訪れるかも。不恰好でもいい、最後の一歩まで大切に歩もう。そっと、ずっと、エールを送ります。

金井 弘枝

「人間万事塞翁が馬」。小学校卒業式の日、当時担任だった先生から送られた言葉です。人生の様々な局面で思い出し、励まされた言葉でもあります。辛い時、楽しい時、常に対極を見据えていれば、突然の環境の変化にも冷静になれるのだと考えさせられました。

宮田 英史

白鷗中ではいろいろな仲間に出会えたと思います。好きなこと、得意なこと、なりたいものは人それぞれ。自分の目指した道に向かって、自分なりの「全力」で駆け抜けてください。疲れたときは休むことも大切です。みなさんのことを応援しています。

青木 瞳

心身共に目覚ましい成長を見せてくれた皆さん、今どんな気持ちでしょうか？様々な困難を乗り越え、清々しくスタートラインに立とうとしているのではないでしょうか…高校生になっても『相手の立場になって行動する人』を心がけて良い人間関係を築いて下さいね！

外丸 幸子

ご卒業おめでとうございます。3年間はあっという間でいつの間にか背が伸び、落ち着きが出て、堂々としている皆さんに頼もしさを感じています。中学校で感じたこと、学んだことを糧として、これから先も自信を持って歩んでいってください。

岩間 由莉子

仲間との友情を培った 部活動の思い出

ソフトテニス部

私は、とても充実した部活動生活を送ることができました。部長に選ばれた時、最初はとても不安でした。しかし、副部長を始め仲間と協力し合い楽しく活動をすることができました。私は部活動を通して、仲間と努力

する大切さや、みんなと目標に向かって努力する大切さを学びました。どんなに辛い練習でも、仲間と声を掛け合うことでもっと頑張ろうという気持ちになり、大会で勝った時はみんなで頑張ったからこその喜びを感じ、とても嬉しかったです。この貴重な経験をこれからの生活にも活かしていきたいと思います。

3年間ありがとうございました。

木村　光希

サッカー部

3年生が引退し、新しいチームで挑んだ新人戦では2回戦で敗退してしまった。その経験から僕たちは、体幹トレーニングやランニングを始め、試合で勝てるように、毎日一生懸命練習をしました。しかし、地区総合大会では、足利で一番強いチームと戦うことになってしまい、負けてしまいましたが、今までは1点も取れず負けていたチームに先制点を決め、2点も奪うことができました。結果的には負けてしまいましたが、この試合で、努力したことは決して無駄にはならないということを実感しました。

これからもサッカー部で培った「諦めずに努力する」ことを胸に頑張っていきたいと思います。

塚越　創太朗

科学部

今年の科学部は、今までお世話になった先輩が引退し、顧問の先生も代わり、1年生が入部し、など慌ただしく始まり、今までの環境から180度変化した部活動でした。

科学部での生活を振り返り印象に残っている出来事は、僕が部長になりたての頃、僕が図に乗ってしまい他の部員から「罵声」を浴びせられたことでした。このことから、僕は自分のことだけではなく、周りのことをきちんと見ることができるようになりました。

後輩へ。3年間は本当に短いです。残りの科学部生活を存分に楽しんでください。こんな部長についてきてくれてありがとう！

長島　知哉

文芸部

私は文芸部が好きです。いつも笑顔で迎え、互いに支え合うことができる私の誇りの部活です。

私が文芸部に入る小さなきっかけを作ってくれた先輩方、ありがとうございました。私はおっちょこちょいでよく失敗します。なので、文芸部に入り、いかに自分が他人に支えられているかを実感することができました。友人、後輩、先生にはたくさん迷惑をかけたと思います。それでも、私が文芸部の役に少しでもたてていたなら嬉しいです。

今思い返すと、中学校3年間という大切な思い出の中に、文芸部が思い出の1ページになりました。この素晴らしい出会いに感謝し、これからも文芸部であったことを誇りに何事にも頑張っていきたいと思います。

小川　真迪

野球同好会

私は野球部に入部し、技術だけでなく人としても大切なことを学び、大きく成長することができました。以前の私は、礼儀がなっていませんでした。しかし、野球部の先輩方はそういった「当たり前のことを素晴らしく」やっていました。先輩方の姿を観て、自分の行動を改め、当たり前のことをしっかりやろうと思うようになりました。野球部で学んだことを、これからの人生で活かしていきたいと思います。

同好会になっても変わらず、熱い指導をしてくださった顧問の高井先生、本当にありがとうございました。そして後輩達、1、2年間本当に楽しかったよ。ありがとう。また、会う日まで。

髙野　久玲臣

バレーボール同好会

私のバレーボール同好会で活動した3年間はとても充実していて、とても楽しくあっという間に過ぎてしまいました。充実した生活にもいくつか不安がありました。部員は入ってくれるのだろうか、このままでいいのだろうか、など。しかし、その不安を消してくれたのは部員達でした。みんなの笑顔で練習していてその姿を見ていたら、不安なんか持ってはいけないなと感じました。自由で頼りない私についてきてくれてありがとう。

顧問の先生、大変お世話になりました。3年生楽しかった。1・2年生ありがとう。一生懸命頑張れ！この3年間は宝物です。今までありがとう。

春山　彩葉

書道同好会

中学校1年生の夏、先輩方が引退した後しばらく部員は3人だけでした。部員を集めるために、新入生歓迎会で初めて書道パフォーマンスを披露し、部員を増やすことが出来ました。また、昨年度の予餞会では後輩達と協力し、7人で先輩方に感謝の気持ちとエールを送りました。パフォーマンスの最中に手拍子をしてくれたこと、完成した時に惜しみない拍手を浴びたこと、あの時の喜びを忘れることはできません。

私は部活動を通して、多くのことを経験し学ぶことが出来ました。それが出来たのは、顧問の先生やいつも笑顔を向けてくれた後輩達、近くで支えてくれた同級生達のおかげです。本当にありがとうございました。

石関　佑実子

クイズ同好会

クイズ同好会は、廃部寸前の所を私が必死にかき集めたメンバーから成る、とても仲の良い楽しい同好会でした。

私は入学当初はほとんど知っている人がいなく、ただ話しかけるだけでも困難だった中、メンバーが少しずつ増えて、5人に達したときには本当に信じられない思いでした。スタートからエンディングまでクイズ同好会は皆の優しさで成り立っていたように思います。また、滝沢先生には、寄生虫の生態から先生が死にかけた時のことなど多くのことを教えていただき、青木先生には、のんきな私たちを最後まで支えていただきました。クイズ同好会の皆には本当に感謝の気持ちで一杯です。

横山　花

男子バスケットボール部

まず、バスケの事だけでなく、様々なことを僕たちに教えてくださった大平先生には本当に感謝しています。本当にありがとうございました。また副顧問として2年間面倒を見てくださった宮田先生、ありがとうございました。

正直、部活動の中で挫折することが多々ありました。ですが、仲間と協力して逃げずにどんな困難も乗り越えてきました。この経験のおかげで、自分たちは人間性を伸ばし、逃げずに立ち向かう力を身につけることが出来ました。僕にとっては、中学校生活での一番の思い出は部活動です。最高の仲間達と共に支え合いながら毎日頑張っていた頃のことを思い出すと、「あの頃に戻りたいな」なんて思ったりもします。

バスケ部で学んだことを今後の人生に活かしていきたいと思います。

阿部　貴世良

女子バスケットボール部

私が部活動を通して学んだことは、最後までやりぬくことの大切さです。小学生のころ、私はピアノや体操などの習い事をしていました。しかし、やっていた習い事は、大きな目標も特になくほぼ全部途中で辞めていました。私はバスケットボール部に入部した時、何があっても必ず最後まで続けようと決心しました。試合の時は選手のサポートをし、練習の時は体力の限り全力で頑張りました。とても辛かったけれど、最後までやりぬくことの大切さを学ぶことができて良かったです。

チームのみんな、色々迷惑かけてごめんね。3年間本当にありがとう。

別府　莉緒

階段アートが完成しました

3年生の卒業制作として、総合学習の時間を使って取り組んできました。3年生の中からデザインを募集し、投票の結果3年2組の影山萌夏さんのデザインに決定しました。下書きは影山さんを中心に行い、色塗りは各班で担当し仕上げました。

※3月いっぱいまで、1階～2階の階段に展示してありますのでぜひご覧ください。

【影山萌夏さんのコメント】

私の描いた作品が、皆さんの力でこんなに大きな作品になって、とても誇らしいです。後輩の皆さんにも階段を見て元気になってもらえたらなと思います。

最高のスキー教室

1年　姜　映在

一面白銀のゲレンデでの滑走とホテルで友達と過ごした楽しい時間。2泊3日で行われたスキー教室は僕にとって忘れられない思い出となりました。

人生初のスキーとなる初日は、スキーのつけ方や、歩き方、スキーに慣れるなど、基本を教えてもらいました。普通の靴の感覚で歩いてしまい足が絡まる事があったりするなど、大変でした。

晴天の2日目。ハの字で滑ることや、曲がり方などの練習をしました。自由滑走の時間は教わったことをしっかり意識しながら、スピードを出して滑るのはとても楽しく爽快でした。最終日となる3日目はそれまでとは違うゲレンデを滑ったりしました。

スキー教室の3日間は本当に充実した時間でした。

北京市海淀国際学校交流を終えて

2年　吉田　琴遥

私は、今回の海淀国際学校との交流会をとても楽しみにしていました。しかし、私は、普段あまり外国の方と接する機会が無いので、コミュニケーションをうまく取ることができるか、また生徒会が司会進行を務めることになり、滞りなく行うことができるか、様々な不安でいっぱいでした。

迎えた当日。海淀国際学校の生徒達は中学生から高校1年生までの生徒が来ていました。言葉が通じないことがあっても、ジェスチャーなどで伝えることができ、生徒会の進行も多くの人達のおかげでスムーズに行うことができました。

そして、全体を通して感じたことは、英会話能力の必要性です。今学んでいる英語の授業を活かすことが出来るように努力したいと思います。次はジェスチャーだけに頼らず、身に付けた英会話で交流したいです。

立志式　将来の自分に誓うこと

2年　照井　陽翔

大人になった僕は何をしているのでしょうか。夢を叶えているのでしょうか。

今の僕の夢は薬剤師になることです。働いている両親の姿を見て同じ職業に就き、一緒に働きたいと思ったのがきっかけです。今の僕は人に迷惑ばかりかけています。しかし、その倍以上に多くの人に支えられています。その人達の役に立ちたい、少しでも多くの人の助けになるような仕事をしたいと思っています。薬剤師になるためには6年間も大学へ行かなくてはなりません。そのために今育ててもらったことに改めて気付くことができました。4年前に祖父が亡くなったとき、人が亡くなることをとても身近で経験しました。とても悲しい思いをしたことを今でもはっきり覚えています。だから僕は命を大切にしたいと思います。

そして最後にもう一つ。父から言われ、心に残っている言葉があります。

「失敗は諦めた時が失敗なんだ。諦めなければ成功する。」これから先、嫌なことや辛いことがたくさんあると思います。どんな時でも諦めずに挑戦し続けることを誓います。自分の思い描く将来へと近づいて行けるように、一日一日を大切にし、何事にも諦めずに毎日を過ごしていきたいと思います。

第58回青少年作文中学校の部　最優秀賞

祖母の右足

1年　山口　博斗

十数年前、祖母は脳梗塞を患った。体の左側の手や足に麻痺が残り、手すりにつかまらなければ歩けない状態になってしまった。そのため普段は車いすでの生活をしていた。週2回のリハビリを行い少しずつ歩けるようになったが、なかなか自分の思ったようには動かなかった。僕は、洗濯物を干したり床にモップをかけたり仏壇の掃除をしたりして家事を手伝い、また、祖母の大好きな卵焼きを作り祖母を励ました。祖母が喜んでくれるととても嬉しかったので、僕ができることは何でもした。祖母はとても優しく、悩み事がある時にはいつでも相談にのってくれた。とても心強い人だった。祖母は普段車いすに乗って生活していたので移動するときはとても大変そうだった。日中は一人でいることが多いため、誰の力も借りることができなかった。ベッドから椅子に乗り換える時には、左足は力が入らないので右足で全体重を支えて体を移動させていた。車いすで移動する時には、自分の右足で床をけりながら動いていた。祖母はとても頑張り屋だった。僕はそんな祖母を誇りに思った。体が不自由でも毎日お化粧をして元気に若い人のようにふるまい、周りを明るくしてくれる。祖母自身辛いことがたくさんあったと思うが、それを表面に出さず常に前向きに生きていることはすごいなと感じていた。

今月1月、祖母は右足に痛みを感じて入院することになった。あのとても大切な右足だ。最初の入院は、検査をしてカテーテルの治療と内服薬を行い2週間くらいで退院になった。右足の痛みは痛み止めを飲んでなんとか抑えられていた。しかし、数ヶ月経つと徐々に痛みは強くなり、痛み止めを飲んでもなかなか良くならなくなっていた。僕が訪れるといつも明るく、僕に元気を与えてくれていた祖母が、「痛い、痛い。」と目をつむってとても辛そうにしていた。僕もとても辛かった。どうしたらいいのかわからなかった。そして6月に再入院することになった。カテーテル治療をしたが、その痛みはいっこうに治まらなかった。結局、右の膝下のところを切断することとなった。父は、切断するという選択以外はなかったという。僕はそのことを聞いたとき、脳内に衝撃が走った。とてもショックだった。しかし、「一番辛いのはばぁばだよね。」母のその言葉に、はっとした。僕よりも何十倍も祖母自身がショックだったに違いない。車いすで移動するときや立つ時に体の全体重をかける大切な右足。祖母の必要な物を持って行ったりしていた。また、祖母の大好きな煮付けを作って届けていた母や仕事で忙しい中でも祖母の様子を見に行っていた父。学校の帰りにお見舞いに行っていた兄。家族全員が一丸となって祖母を支えた。それぞれの役割を果たしていた。僕はそんな家族の助け合いや協力があったからこそ、祖母は足を切ることを受け入れて、気持ちが和らぐことができたと思う。僕はそんな家族が大好きだ。

祖母は、今は義足を付けてリハビリを頑張っている。いつか僕も困っている人を助けたい。よしっ、頑張るぞ！

右足を切断した祖母に会った時、前のような痛みにもがいている様子はなく落ち着いていた。僕は「体調どう？」と聞くと「元気だよ。」とにっこりと答えてくれた。以前の優しかった祖母の顔だった。とても苦しいなか頑張って、辛いことを乗り越えたんだなと思った。最初に入院してから半年が過ぎた。入院中、毎日お見舞いに行っていた祖父。祖母が来ていたパジャマを洗濯したり、